

機密
受第 0693 號
12. 2. 8

高級股第八三八號
大正十二年二月五日

亞細亞局

第一課
綴込名
林

長野縣知事本間利雄

内務大臣水野錬太郎殿
外務大臣内田康武殿
各廳長官

印刷物配付者調査ニ關スル件

小 平 總 査

右者客月十七日附高級股第六一〇號ヨ以
テ新潟縣貫縣通教ニ依リ調査スルニ管下ニ
該當者、在籍、寄留、居住無之
右及申通教候也

MT 11212 03151

MT 11212 03150

機密
受第 1067 號
12. 2. 20

高秘第三九六八號

亞細亞局

第一課

綴込名

報

大正十二年二月十七日

熊本縣知事 岡田忠彦

内務大臣 水野鍊太郎殿
外務大臣 伯爵内田康哉殿
新瀉縣知事 太田政弘殿

印刷物配布之關スル件

客月十七日付高秘收第六一〇號ヲ以テ新瀉
(貴)縣ノ申(通)報ニ係ル「恭賀新正」ト題
スル印刷物ノ郵送ヲ受ケタルモノ無之且ツ小平
總治ナルモノ「管下」在籍又ハ寄留者ニアラ

右及申(通)報候也

申(通)報先(宛名ノ通り)

MT

11212

03153

MT

11212

03152

121

日英外交係

(已號用紙)六

六門一類五項
關係書類
各國駐劄帝國公使任免雜件支那部
ニアリ

十二年八月十日調

芳澤駐支公使新任ノ際ニ於ケル御信任狀問題

駐支芳澤公使任命ニ對シ六月十二日附テ中華民國大總統黎元洪宛御信任狀御下附アリタル處六月十三日黎總統ハ直隸派ノ隱謀ニ依リ遂ニ退位ノ已ムナキニ至リ支那政府ハ大總統選舉法第五條即チ大總統缺位トナレル場合ハ副總統之ヲ繼任シ副總統同時ニ缺位トナレル場合ハ國務院ニ於テ其ノ職ヲ攝行ストノ規定ニ基キ六月十四日附テ以テ各國公使ニ對シ國務院ニ於テ大總統ノ職ヲ攝行スヘキ旨通告アリ爲ニ右御信任狀ヲ如何ニスヘキヤノ問題ヲ生セリ

外務省

MT 11212 03154

(已號用紙)

惟フニ本來御信任狀ハ親シク元首ニ提出スヘキモノニシテ若シ元首空位ナルカ其ノ他ノ事故ニ依リ親シク提出スルヲ得サル場合ニハ一時提出ヲ差控フルコト其ノ事例ニ乏シカラス而カモ其ノ間外國使臣ニ對シテハ常例ノ待遇ヲ爲スコト國際ノ慣例タリ一例ヲ舉クレハ大正八年駐米幣原大使新任ノ際偶々「ウイルソン」大統領病氣ノ爲御信任狀ノ提出遅延シ其ノ間約七ヶ月ヲ經タルモ大使トシテ待遇ヲ受クルコト常例ノ通ニシテ又職務執行ニモ何等支障ヲ見サリシカ如キ之ナリ因テ政府ハ此ノ場合ニ於テモ後任大總統決定迄御信任狀提出ヲ見合ハスコト可然ト思考シ芳澤公使ニ其ノ意ヲ含メ赴任セシメタリ芳澤公使ハ七月十六日着任翌日外交部務代理外交次長沈瑞麟宛着任ノ趣ヲ通知シ同月十九日公式ニ沈外交部務代理ヲ往訪シテ就任ノ接

外務省

MT 11212 03155

REEL No. 1-0062

0403

摺ヲ爲シタルニ對シ沈次長モ正式公使トシテ芳澤公使ノ地位ヲ認メ
應對セリ加之是ヨリ先在支吉田代理公使ヨリ五月三十一日附公文ヲ
以テ芳澤公使任命ノ旨沈部務代理ニ通知シタルニ對シ六月五日附公
文ヲ以テ支那政府ハ芳澤公使任命ニ對シ頗ル歡迎ヲ表スルニ付此ノ
旨日本政府ニ轉達アリ度旨回答アリ旁々御信任狀提出前ト雖モ公使
トシテノ職務執行支障ナキハ勿論常例ノ待遇ヲモ與ヘラルルモノト
豫期セル處其ノ後支那新聞カ日本ハ正式大統領就任迄信任狀ヲ提出
セサルコトニ決定セリト傳ヘ右ハ現支那政府ヲ承認セサルコトヲ意
味スルモノナリト云フカ如キ誤聞ヲ傳ヘタル爲一般ノ注意ヲ喚起シ
支那政府ニ於テモ内政上ノ關係ヨリ急ニ憂慮シ初メタルカ如ク芳澤
公使ニ對シ頻リニ國務院ニ御信任狀ノ提出方ヲ求メ來リタルカ其間

外務省

(已號用紙)

MT

11212

03156

七月廿三日外交總長ニ就任セル顧維鈞ハ新任挨拶ノ爲親シク各國公
使ヲ訪問シタルニ拘ラス芳澤公使ヲ訪問セサルノミナラス其ノ外交
總長就任ノ通知モ日本公使館宛トシ同公使ノ地位ヲ認メサルカ如キ
仕打ニ出テタルヲ以テ芳澤公使ハ七月廿五日ノ顧總長ノ外交團接見
ニ出席ヲ見合セ翌廿六日攝政内閣ノ首席總長タル高凌霨ヲ往訪シ一
國公使カ正式ニ任國政府ニ着任ヲ通知シ其ノ國ノ外務大臣ニ就任ノ
挨拶ヲ爲シタル以上ハ御信任狀提出前ニ於テモ任國政府ハ之ヲ正式
公使トシテ待遇スルコト文明國一般ノ慣例ナルニ拘ラス顧總長カ斯
ル措置ニ出テタルハ國際禮讓ヲ顧ミサルモノナリトシ其ノ不都合ヲ
責メタル處高總長ハ種々辨疏ノ上公使申出ノ次第尤モニ付早速顧總
長^ト協議ヲ遂ケ更ニ何分ノ回答ヲ爲スヘント答ヘ引續キ芳澤公使ヨリ

(已號用紙)

MT

11212

03157

外務省

(已號用紙)

嚴談ノ結果願外交總長モ遂ニ其ノ態度ヲ變シ改メテ沈外交部務代理
ヨリ同公使ノ着任通知ニ對シ回答ヲ發スルト同時ニ願外交總長ヨリ
他ノ外國公使ニ對スル就任通知ト同一ノ照會ヲ同公使ニ發送シ且願
總長自ラ八月二日同公使ヲ來訪會見スルコトヲ承諾シタルヲ以テ芳
澤公使ハ御信任狀及公使解任狀ノ各寫ヲ外交部ニ送附シ且八月三日
願總長ヲ答訪スルコトトナリ本問題ノ解決ヲ見ルニ至レリ尙本問題
ニ關スル在支各國公使側ノ意見ヲ推想スルニ芳澤公使ノ態度ヲ以テ
是ナリトスルモノノ如ク現ニ英國公使館參事官ハ願總長ノ態度ヲ以
テ愚ナリトシ佛國公使亦同様ノ批評ヲ加ヘ和蘭公使ノ如キハ右ノ解
決ヲ以テ日本ノ大成功ナリト述ヘタリト云フ

外務省

MT

11212

03158

REEL No. 1-0062

0405

機密
第2145號
12. 4. 4

門類
項號

高親第二〇七九號

亞細亞局

大正十二年四月二日

大政府知事 井上孝哉

綴込名

課

日支外交手係

陸林

内務大臣 水野錬太郎殿
外務大臣 白根内田康哉殿
各府縣長官官殿

印刷物配布之罪スル件

東京市麹町區永樂所二百一番地

凡ノ内ビルヂング内

東亞電報通信社

右ノ對支外交ノ最大禍根者ト題スル憲政會
總裁加茂高明氏ノ攻撃シタル別冊一部ヲ管下凡

條書等奉り着長宛郵送シ未リテ事實アルモ同書長
ハ談話上ハ何等ノ罪非係ラ有セサルニ三年別冊(納務大臣
添付及申(通)報候也

MT

11212

03160

MT

11212

03159

0406

機密
受第 2326 號
12. 4. 12

陸軍省

亞細亞局

第一課

綴込名

紙

高秋 牙二四。之號

大正十二年四月六日

富山縣知事 伊東長八郎

内務大臣 水野錬太郎 殿
外務大臣 岡田 康 彦 殿
各府縣長官 殿

小冊子郵送ニ関スル件

東京市麹町区永永町二丁目一番地

東亞電報通信社

右名義ヲ以テ 社友外交ノ最大禍根者

ト駐スル小冊子ヲ各社ノ郵送ニ付

趣若日二十九日 高秋收外三九三一号ヲ以テ

北海通船 貴ノ方 通報有之ハ知信下

白山日报社及吉島新報社ニ宛テ標印
送附シタルモ 孰レモ一獲セズニテ放棄ニ紙上
ニ掲載セサルハ勿論之ニ対シ 何等ノ意圖ナキ
模様ニ有之ハ条
右及甲(同)報矣也

MT

11212

03162

MT

11212

03161

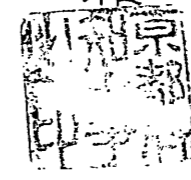
附屬書類添附

亞細亞局

特高第一〇八八號

大正十二年五月三十日

京都府知事池松時和



時和

機密
第 4087 號
12.6.7

門類
ノ
ノ
ノ

移民課

情報部

文化

内務大臣水野錬太郎殿
外務大臣齋藤内田康哉殿
文部大臣鎌田栄吉殿
指定廳府縣長官殿
千葉石川愛知麻見島
岡山各縣長官殿
木下上海事務官殿

日支親善親會ニ関スル件

京都商業會議所ハ日支親善ヲ圖ル爲メ善隣會ト
稱シ屢々京都在任支那留學生ヲ招待宴會ヲ開催
セシコトハ既報ノ通ナルガ尙本月廿七日午後七時ヨリ晚餐
會名義ノ下ニ祇園八坂俱樂部ニ別記留學生ヲ
招待シ新京極笑福亭一座ヲ駛シ午踊琵琶歌其
他余興アリテ宴ニ移リ全土時和氣霽々裡ニ散會セリ
而シテ出席者ハ別紙ノ通ニシテ席上主催者ヲ代表シ実
業家松風嘉定ノ開會ノ辭ニ次ギ海老名同志社
大學総長末賓總代トシテ祝辭ヲ又孫徳修ハ留學
生ヲ代表トシテ謝辭ヲ述バタルガ何レモ答筭ニシテ政治
外交ニハ言及セザリシ
右及申(通報)候也

MT

11212

03164

MT

11212

03163

第一課
綴込名
大體分位
別掲

日支外交手帳

陪賓山本美越乃

森外三郎

神戸正雄

松尾音次郎

小川郷太郎

山田外三郎

鈴木信太郎

青柳栄司

村上守一

瀧浦文彌

海老名禪正

末廣奎雄

山内藤馬

今日本學生

伊藤完二

西海枝信隆

久住梯三

星賀博

太田某

西村吉右衛門

松浦房造

飯田政之助

平井權七

辻忠郎兵衛

平井仁兵衛

梅原長兵衛

陪賓日本學生

特野緩成

相羽芳雄

真下義範

荒木潤三

菊田大郎

島村義信

鈴木楮一郎

引田哲一郎

上野市太郎

増次六郎

恩田泰三

田中博

熊谷直之助

下村正太郎

島津源藏

伊藤兵藏

井上利助

稻垣桓吉

六麻清治

濱岡光哲

大澤徳太郎

奥村安太郎

田中新一馬

田中新七郎

MT

11212

03168

MT

11212

03167

會

員

瀧川 定次

曾野作太郎

辻 定吉

中澤利八

野口安左右五郎

久保田庄左卫門

福田淡次郎

官本儀助

松風嘉定

後川文藏

島津常三郎

MT

11212

03169

REEL No. 1-0062

0411

密
第568
12. 6. 23

人事課

會計課長

逕細
第一課

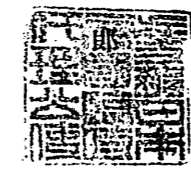
日支外交子係

大正十二年六月十四日

在支那

臨時代理公使 吉田伊三

送込名



外務大臣伯爵 内田康哉 殿

芳澤公使來任ノ際奉天へ立寄方稟請ノ件

奉天、廣東、保定及洛陽ノ四地ハ事實上現在支那ニ於ケル政治的勢力ノ代表地ナル處右ノ中奉天及廣東ニハ帝國代表者常駐シテ絶エス是等ノ地ニ於ケル事實的勢力ト接觸ヲ保チ居レルモ保定及洛陽ニハ何等帝國官憲ノ駐在スルモノ無之自然我方トシテ之ヲ閉却シ居ルカ

在北京日本公使館

(已號用紙)

如キ形ヲ呈シ居候處從來曹錕及吳佩孚等ニ於テハ折ニ觸レ我官憲殊ニ公使館側ノ來訪ヲ期待シ居ルモノノ如ク現ニ南京交渉員溫世珍及曹錕秘書ニシテ交通部秘書ヲ兼任スル董顯光等カ西田書記官ニ對シ公使又ハ然ルヘキ館員ノ保定往訪ヲ從速シタルカ如キ又最近高木陸郎カ曹錕ヲ訪問セル際武官以外ノ日本人ノ來訪ハ殆ント皆無ニシテ貴殿カ始ナリトテ大ニ歡待シタルカ如キ事實有之又吳佩孚方面ニ於テモ岡野等ノ情報ニ依レハ略斯クノ如キ心情ヲ有スルコト想像ニ難カラサル次第有之候然ルニ擬ツテ外國側ヲ見ルニ過般來英國米國佛國等ノ各公使ハ何レモ曹錕ヲ訪問シタル事實有之候ニ付我方ニ於テモ然ルヘキ機會ニ於テ曹、吳ヲ訪問シ置クコト極メテ望マレキ次第ト豫々思考致候處今同芳澤公使ノ來任ハ右訪問ヲ實行スルニ於テ見逃スヘカラサル最近ノ好機會ト存候尤モ我方代表カ單ニ曹錕ヲ訪問スルノミニテハ張作霖側ノ嫉妬ヲ招クノ虞モ有之ルヘキニ付洛陽保定ヲ訪問スルモノトスレハ奉天ニモ一應顔出スルコト得策ナルヘク從テ芳澤公使來任ノ際奉天經由ノ道筋ヲ選ミ立寄ノ序ヲ以テ張ヲ訪問シタルカ如ク秘フニ於テハ世

在北京日本公使館

MT

11212 03171

MT

11212 03170

間ノ注意ヲ惹クコトモ少ク至極好都合ト存レ候ニ就テハ何分ノ儀御
詮議相成度此段及稟請候也

(已號用紙)

在北京日本公使館

MT

11212

03172

REEL No. 1-0062

0413

門
類
項
號

機密
受第 4798 號
19 6. 30

特許第 3008 號
亞細亞局

大正十二年六月二十八日

和歌山縣知事 佐竹義文

綴込名

第二課

日支外交手帳

内務大臣 水野錬太郎殿
外務大臣 白田稔成殿
農商務大臣 荒井賢太郎殿
石川輝久 山縣治郎殿

外交問題ニ関スル印刷物郵送件

六月二十日附発高砂第 405 号(五七号)存留
(是)線申通報ニ係ル急送ノ件由急スルニ答
下ハ申付郵送其之

亦及申通報ニ也

MT

11212

03174

MT

11212

03173

日支外交干渉

亞細亞局

公第一五八號

大正十二年六月二十五日

在滿洲里

領事代理 田中文

田中文 印

普通 受第 12.7.17

第一課 米局

ハ市史

第三課

門類 項 號

外務大臣伯爵内田康哉殿

海拉爾ニ於ケル日支交歓ニ関スル件

今回、本官海拉爾出張、當館開設後初メテ、事ナルヲ以テ
我居留民ハ勿論支那官民、歡迎洵ニ盛大ヲ極メ、當地ヨリ
ハ支那交渉員案内シ六月十八日本官一行、海拉爾ニ着
ルヤ、呼倫貝爾督辦程廷垣外支那文武各長官及蒙
古政廳代表者等深夜ニ不拘驛頭ニ出迎ヘアリ、就中

在滿洲里日本領事館

MT 11212 03175

程督辦ハ本官等ヲ官邸ニ宿泊セシメ出入ニ森物及護衛
ヲ附シ十九日晝餐ニハ我居留民及蒙支官民三十餘名
ヲ招待シ同夜晚餐ニハ鎮守使ト合同ニテ露國側市
役所及欽道代表者、英高等ヲ陪賓トシ、歡迎シ地方ノ
安寧幸福カ日支親善ニ基調スルコトヲ強調致候、尚二十
日ニハ程督辦以外、支蒙官民、歡迎宴アリタルヲ以テ小
官ハ二十日居留民、小官一行、歡迎會ニ是等支那官
憲、代表者ヲ陪席スル様態、僥フル處アリテ支那官憲
及我居留民間、接觸ヲ増進スルニ資シ、尚二十日ニハ小官
ニ於テ支那官民及蒙古官憲並露國側等左記ノ通り
四十名ヲ招キ、鉄道俱樂部ニ晚餐會ヲ催シ、我居留
民ニ對スル厚意ヲ謝シタルニ各代表共我方ニ對スル友情
ヲ披瀝シ、言高益、親睦ヲ加ヘ、列車、發ナル迄交歓ヲ

在滿洲里日本領事館

MT 11212 03176

繼續シ我居留民ノ一古老ラレテ海拉爾未曾有ノ盛
 會ナリト喜ハシメタル狀況ニ有之候
 右ハ單ニ彼我招宴上ノ交歓ナルニ從來トス比較的善カリシ
 支那官憲ノ我居留民ニ對スル感情ヲ一層増進セシメ
 得タルコトヲ信セラレ候ニ付此候報告申進候 敬具

在滿洲里日本領事館

MT 11212 03177

六月二十日海拉爾鐵道俱樂部ニ於ケル
 招宴人名

| | |
|----------------|------|
| 善後呼倫貝爾事宜督辦兼交涉員 | 程廷恒 |
| 督辦公署第一科長 | 齊豫讓 |
| 全 第二科長 | 史 |
| 全 第三科長 | 尤 |
| 全 日語譯官 | 于 |
| 全 露語譯官 | 揚 |
| 副都統公署左廳長 | 成德 |
| 全 右廳長 | 巴嘎巴迪 |
| 廂黃旗總管 | 榮安 |
| 海拉爾鎮守使 | 張明九 |
| 鎮守使署副官長 | 陳慶魁 |

在滿洲里日本領事館

MT 11212 03178

| | |
|-------------|-------------|
| 鎮守使署参謀長 | 齊 |
| 電燈廠長 | 周永盛 |
| 東支鉄道運輸西部管區長 | ワシリエフ |
| 海拉爾機關庫長 | オセル |
| 車輛課西部管區長 | チエツイレキン |
| 保線課第二區長 | アホフ |
| 海拉爾驛長 | ギレリス |
| 鐵道病院長 | テルネツキイクリモウチ |
| 市長 | 上田兵馬 |
| 居留民户主 | 坂本良彦 |

在滿洲里日本領事館

MT 11212 03180

| | |
|----------|-----|
| 步兵團團長 | 蕭顯場 |
| 憲兵連連長 | 金紹宗 |
| 警察廳長 | 郎官普 |
| 呼倫縣知事 | 郭曾煜 |
| 特別區檢察官 | 孫紹康 |
| 徵收局長 | 周懷印 |
| 特別區警察署長 | 邵清淮 |
| 路警處長 | 鄧樹仁 |
| 電報局長 | 潘遇春 |
| 舊市街商務會會長 | 李璽榮 |
| 新市街商務會會長 | 孫銘棟 |
| 廣信公司經理 | 劉會隆 |
| 東三省銀行經理 | 齊贊臣 |

在滿洲里日本領事館

MT 11212 03179

門 /
類 卷
類 文
類 類

ニアリ

曹錕總統承認問題、
各國内政關係雜纂(支那ノ部)

自大正十二年十月
至

(成號用紙) 国納

日支外交關係

外務省

MT 11212 03182

計四拾五人

松田米作
稲田梅十
佐藤熊吉
降旗來衛
山田初太郎
高木萬次郎
岩重春市
中村福太郎
渡辺房吉

在滿洲里日本領事館

MT 11212 03181

REEL No. 1-0062

0418

附言類添

亞細亞局

第一課

支外支

公第三五二號

大正十二年十二月十三日

在奉天

總領事 船津辰一郎

外務大臣男爵 伊集院彦吉殿

兒玉關東長官ノ來奉ニ關スル件

兒玉關東長官ハ家族隨員等ト共ニ別紙ノ日程ニ依リ管内外ヲ巡視
中ノ處本月二日朝當地來着同日張作霖及省長王永江ヲ訪問シテ就
仁ノ挨拶ヲナシタルカ本官ハ同長官カ家族ヲ同伴セルヲ機トシ同
日晝常館ニ席ヲ設ケテ一行中ノ婦人及張總司令、王省長、吳督軍
孫督軍、張交涉使、張學良等ノ各婦人ヲ招キ午餐會ヲ催フシ次テ
翌三日夜一行竝ニ張總司令、王省長各廳長以上ノ支那側官憲ヲ主

在奉天日本總領事館

普通
第354號
12.13

手
1/2
水

賓トシ之レニ居留邦人ノ主ナル者三十餘名ヲ陪席セシメ主客約六十
名ヲ一堂ニ集メ日支兩國官民ノ懇親ヲ計ル意味ヲ以テ晚餐會ヲ
開催致候然ルニ翌四日恰モ渡日ノ途ニアル王正廷一行ノ來奉ニ會
シタルヲ以テ本官ハ更ニ同日正午同一行ヲ常館ニ招待シ長官一行
トノ會見ヲ計リタルニ張總司令ハ同夜同官邸ニ長官一行ヲ招待シ
日支各夫人ヲ交ヘ盛宴ヲ張リ大ニ歡待ニ努メ候 以上ハ同長官カ
當地來訪中ニ於ケル支那側トノ交驩ノ大要ナルカ前記ノ會合ニ於
テ兩者間ノ懷抱セル日支親善竝ニ共存共榮ニ對スル相互ノ意見モ
隔意ナク交換セラレタルノミナラス張作霖氏ハ故寺内元帥ノ朝鮮
總督時代當時廿七師師長トシテ朝鮮ニ趣キ兒玉伯トハ舊知ノ關係
モアリ且伯ハ故兒玉大將ノ令嗣ニシテ女婿タル等種々ノ關係ニ於
テ張作霖モ特ニ啓愛ノ意ヲ表シタル傾キ有之其上今回ハ長官夫人
令嬢及中山警察局長夫人等ノ來奉ニヨリ更ラニ日支婦人間ノ融

在奉天日本總領事館

MT 11212 03184

MT 11212 03183

和ニモ資シタル處尠カラス 要之同長官一行ノ來奉ハ當地方日支
 官民公私ノ接觸ヲ親密ナラシムルコトニ於テ其效果多大ナルモノ
 アリシト思考被致候
 右御參考迄報告申進候 敬 具

在奉天日本總領事館

MT 11212 03185

關東長官視察日程（奉天）

| | | | |
|-------|-----------|------------------|----|
| 十二月五日 | 夜 | 前六時四十分出發北行 | 以上 |
| 十二月四日 | 正午 | 張總司令及王省長招宴 | |
| | 夜 | 總領事館ニ於ケル王正廷招宴ニ列席 | |
| | 午後 | 張總司令 王省長訪問 | |
| | 夜 | 公會堂ニ於ケル居留官民歡迎會 | |
| | | 市內視察 | |
| | | 總領事館ニ於ケル | |
| | | 總領事館ニ於テ日支婦人招待餐會 | |
| 十二月三日 | 正午 | 神社 忠魂碑參拜 | |
| | | 總領事館ニ於テ日支婦人招待餐會 | |
| 十二月二日 | 午前九時四十一分着 | 神社 忠魂碑參拜 | |

在奉天日本總領事館

MT 11212 03186

關東長官一行氏名

兒 關東長官

同 夫人

同 令嬢

中山警務局長

同 夫人

松井陸軍歩兵大佐

入江滿鐵理事

田中秘書官

北崎理事官

山西滿鐵文書課長

渡會 翻譯生

小阪 逸

在奉天日本總領事館

MT 11212 03187

REEL No. 1-0062

0421

電信課長



大臣
次官

亞細亞
歐米

要目付丁

通商
條約
情報
人事
會計
文書
平和條約
對支文化

書

第三

第六

號

伊集院

外務大臣

船津

總領事

奉天

大正十二年十二月二十日

九二〇

| 件名 | 綴込名 |
|----|-----|
| | 伊集院 |

二、四〇

二五

閣下張總司令御訪問ノ答禮旁
先般閣下張總司令御訪問ノ答禮旁
諺謀長張學良講武道教育長大佐
祝其燈同教官少佐
大尉同
本課長
十一月二十三日見學
十一月二十日朝九時旅
十一月二十四日朝貴

MT

11212

03188

地農尺達ニ立寄リ帰奉ノ豫定ニ付萬
事可然御配慮ヲ煩シメ

大臣公使一電報セリ

MT

11212

03189

電信課長

大臣
次官

亞細亞
歐米
通商
條約
情報
人事
會計
文書
平和條約
對支文化

秘書
伊集院外務大臣
見玉園東長官

件名
綴込名
地獄丸

秘第 一六四號
一七四四時
一〇〇〇

過日本官張你森訪洞ノ答礼トシテ今回少將張
學良ソ代理トシテ差遣スルコトトナリ明二十
二日朝孫順著二十四日朝大連ノ向フコトニ決
セリ本件ハ草ニ授移ノ交換ニ過キサルモ日支
ノ關係ソ一層圓滿ナラシムル上ニ於テ多少ノ
効果アリト考ルニ分軍司令部滿鐵トモ十分ノ
折合セテ為レ相當待遇スル積ナリ唯支那全局

ノ政局ニ鑑ミ奉天側力之ヲ直隸派ニ對スル示
威的方法ニ利用スル点ナキニアラサルモ此点
ニハ相當注意ヲ拂ヒ遺憾ナキヲ期セルトス
本報告ス

MT 11212 03191

MT 11212 03190

對支文化 平和條約 文書 會計 人事 情報 條約 通商 歐米

大臣 次官

電信課長

亞細亞

電

1945年 12月 22日 午後 5時 3分 受
 出副亞細亞局長七 關東廳警務局長七
 加二五二号
 留ニ七官ノ沿線視察ノ途次訪向セリシ夕ルニ打
 シ香弘ノ為テ字良ニ張作霖代理トシテ夫人及徒
 着六名ヲ徒ニ本日午前十時看、尚当地ニ泊ノ豫
 定ナリ、尚参考也。

件名 綴込名 也

MT 11212 03193

拓殖局 意無御参考及送付候也
 外務省 拓殖事務局

送付

普通 12/22

亞細亞局 第一課

拓第 四八五三號 大正 十一年 十二月 廿二日 午後 五時 三分 受 主任

宛名 東京 拓殖 事務局 局長 發信人 關東 廳 警務 局長

電報譯文

二五一、
 駐日支那公使王承賢本日安東通過朝鮮經由渡
 日也御参考也

拓殖局

MT 11212 03192

七
17577
(10)

華

日記



主典

旅順 大正十二年十二月廿四日 九、五五、
本宿着 廿五日 前 一、一、

伊集院外務大臣

兎王閣東長官

張作霖ノ代理トシテ答禮ノ為来リタル張
學良ト前後九回懇談ノ大要報告ス
張學良ハ先ツ東ニ有リ日本ノ關係カ根
本的ニ離レカラスニトテ述ベ自己ノ
立場ヲ明シシ次テ奉直ノ關係ニ付左ノ
如ク陳述セリ
奉天側ハ自ラ進ニテ戰端ヲ開ク意思
ナシ乍併(一)元来直隸ハ常ニ信義
ヲ重シセズ而カモ奉天側ハ正義ノ結合

MT 11212. 03196

ナリ主義トシテ相容レズ (二) 自己ノ盟友
浙江ノ形勢危機ニ迫ル (三) 於テハ義
於テ傍觀スルニ忍ビス (三) 吳佩孚ハ
自己ノ仇敵ニシテ之ヲ倒サレハ止マズ
然ルニ今ヤ直隸ハ支那本部ヲ統一シ將
奉天ヲ屠ラントスルノ計畫ヲ立テ形
勢ハ急ナリ故ニ冬期ヲ利用シ敵ノ計
畫十分ナラサルニ應ジ之ヲ攻撃スル
之ヲ寧口得策ニシテ徒ニ無為ニ遷延セ
ハ奉天側ハ孤立ノ凶窮境ニ陥ル虞
アリト切ニ形勢ノ急ヲ訴フ日本ニ對
シ小官ニ支那大勢ヲ説キ日本ニ對

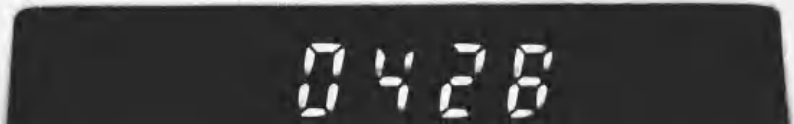
MT 11212. 03197

非ナル所以ヲ痛論シ置キタリ 尚奉天
 側ハ常ニ正義ヲ基礎トシ天下ノ信用ヲ
 集ムルニ努ムル一キ旨候セテ注意ヲ促シ
 置キタリ 之ニ對シ張參謀長ハ小生ノ
 説ニ全然同感ヲ表シ委細還リテ父張
 作霖ニ傳ヘ極力父ヲシテ理解セシムル
 コトニ努ムル一カ爲シ尚父ニ感情的ノ性質
 有シテ往々之カ爲失敗ヲ招クコトアル
 次第ナルカ自分ハ飽迄輕辱ヲ謹ム
 様勸告スル積ナリ父ハ常ニ自分ニ對シ
 年少ノモノト心得表面ハナカナカ云フコ
 トヲ聞カサルモ此誠意アル御話ヲ傳

MT 11212 03199

列國ハ多年和平統一ヲ希望スルモ現今
 ノ政局ヲ以テセハ支那ノ前途頗ル悲觀
 ス一キモノアリ是ノ多難ナル時焉ニ際シ
 勝敗ヲ顧ミズ浙江ヲ援ケトスルハ即
 今小管ノ爲メ大義ヲ滅スルモノ非ヤ
 矣佩孚ニ對スル私怨ヲ報ヒシトスルカ如
 キ又爲政治家ノ標ルキ途ニ非ス之耶
 ノ前途ヲ救ヒ云億ノ民衆ヲ安定セシ
 ムルヲ目的トセハ値シク東三省ノ國力
 ヲ充實シ兵力ト財政ノ整備ヲ期スル
 キニ非スヤト大體論ヨリ滿蒙ニ對スル
 日本ノ立場ヲ極論シ奉直戰爭開始

MT 11212 03198



ヲ申進ム

一ナハ必ス同感ト確信スト申シ居レリ
右様ノ吹芽ニテ時句救済上多少ノ効果
アルニシト考ヘラハ高奉天ト直轄トノ
間係ヲ圓滿ニシ其衝突ヲ避クルハ
一面奉天側ニ對シ極力之ヲ阻止ス
ル方法ヲ講スルト同時ニ張參謀長リゼ
ノ如ク奉天側浙江トノ關係ヲ最心
配頭ヲ惱マシ居ル吹芽ナルハ速ニ浙
江ノ地位ヲ安定シ固リ且段祺瑞ヲ
于此際慎重ナル態度ヲ持スニ様痛
當ノ措置ヲ採ラハ御参考迄ニ併セ
勞一義ト考ヘラハ御参考迄ニ併セ

MT

11212

03201

MT

11212

03200

大臣 次官 亞細亞 通商 條約 人情 報 會 計 文 書 和平條約



Handwritten signature and date: 1923.12.29

電信課長

電信案

暗號 發電大正十二年十二月廿四日 午後五時三十分 送電番號一〇〇四八 奉天經由 長春經由

主 任 亞細亞局長 友

件名 亞細亞局長 友

受信 旅順 玉關 東長官

發信 伊集院 大臣

第二十六號 閣下係御 今同 旅行ハ日支ノ關係 裨益スル處妙カ ラスト 存レ 御 敬謝ニ堪ヘタル事 此ノ上トモ 希望ス尙支那政局ノ現狀御參考迄 電 ス

外務省

MT 11212 03202

大臣 次官 電信課長

亞細亞 通商 條約 人情 報 會 計 文 書 和平條約 對支文化

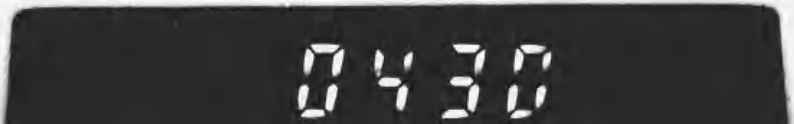
| 件名 | |
|-----|-------|
| 綴込名 | 02 15 |

事又甚 本有者 十二月廿四日 坂六四五

伊集院 外務大臣 船場 總領事

第二十九六號 電第第八七號 貴地、旅、非常、歡迎、交、ケ、ニ、五、日、夜、無、事、帰、奉、レ、タル、カ、ニ、三、日、前、張、作、衆、ハ、本、友、ニ、對、シ、今日、貴、方、ノ、御、見、學、ニ、傍、答、礼、ノ、為、思、息、ヲ、旅、大、ニ、達、ハ、シ、息、息、若、年、ノ、悻、ニ、對、シ、過、今、尤、ウ、敬、儀、ヲ、受、ケ、タル、ハ、實、ニ、恐、縮、且、感、謝、ノ、至、リ、ト、シ、テ、

MT 11212 03203



心中極々善悦ヲ蒙ル能ハサルモノ如ク
見榮クナリ
在支公使及閣長長友ニ對シテ

普通
受第 37 号
12.12.25

附言類添附

三二二號

大正十一年十二月二十日

亞細亞局

在奉天第一課

總領事船津辰一郎

在

外務大臣閣下 仔細亞局 吉殿

大正十一年十二月二十日 閣下長官

閣下二二〇號 寫送附

件名

一張參謀長等答訪ニ関スル件

MT 11212 03205

MT 11212 03204

寫

關第ニシロ號

大正十二年十二月二十日

在奉天

總領事 船津辰一 郎

關東長官伯爵 兒玉秀雄殿

張參謀長等答訪ニ關スル件

本件ニ關シ拙電第七五號ヲ以テ申進置候通り過般閣下當地御巡察ノ砌張保安總司令ヲ御訪問ノ答禮使トシテ左記一行來ル二十一日夜當地發列車ニテ貴地ニ向ケ出發可致候ニ付別紙日程御査閱ノ上可然御配慮相煩度此段申進候 敬具

記

張學良 參謀長奉天第二旅長

蕭其美 陸軍大佐講武堂教育長

在奉天日本總領事館

MT 11212 03206

藍騰蛟 陸軍少佐講武堂教官
王和華 陸軍大尉副官
張存敬 同 副官
陶尙銘 奉天交涉署第三科長

本信寫送付先 外務大臣、在公使、滿鐵社長

在奉天日本總領事館

MT 11212 03207

亞細亞局

第一課

寫

普通
第201號
12.12.25

拓第 號 大正十一年十二月二十五日午後六時三十分受
主任

宛名 儀事務局長

發信人 關東廳警務局長

電報譯文

綴込

(三五) 署長官ノ沿線視察ノ途次訪問セラレ
タル對シ答禮ノ爲メ張學良ニ張作霖代理トシテ
夫人及從者六名ヲ隨ハ本日午前十時着旅
當地ニ泊ル豫定ナリ
御参考迄

拓/第201號

本寫爲御參考及送付候也
工部省
拓殖局
外務省
御中

拓殖局

MT 11212 03208

亞細亞局

第一課

寫

普通
第201號
12.12.26

拓第 號 大正十一年十二月二十五日午後六時三十分受
主任

宛名 拓殖事務局長

發信人 關東廳警務局長

電報譯文

(コウニ五三) 既報張學良ハ本日大連ハ向ケ出祭
セリ同地一泊歸奉ノ途ニ就ク豫定ナリ
御参考迄

拓/第201號

本寫爲御參考及送付候也
工部省
拓殖局
外務省
御中

拓殖局

MT 11212 03209

亞細亞局長

足田東鑑長官

あ淵重田亞局長致

三講

往(電)二五三(号)既報張學子良ハ本日大連へ
向ヶ出發セリ回地一週帰奉ノ途ニ着ク豫定ハ
リ。希参考迄。

(戊辰用紙) (右非絶)

外務省

MT

11212

03210

REEL No. 1-0062

0434



機密
624
12.10.26

送目録

張作霖ハ本月十七日來奉セル前交通總長葉恭綽、孫文代表周頌平、周有益、浙江代表盧小嘉、四川代表李其等ヲ當日午後三時ニ總司令部ニ招請シ盛宴ヲ張レルカ陪席者ハ楊宇霆、張學良、郭松齡等ニシテ席間張作霖ハ奉直和議ニ關シ經過ヲ語り葉氏始メ各代表ハ一律奉直和議ヲ斷絶シ以テ直系ノ籠絡ニ來セサルヘキヲ主張セリト

出淵亞細亞局長殿
川口拓殖事務局局長殿
在京事務總長殿

●張作霖ト各代表者ノ交驪

關機高秘收第一九四四五號ノ一
大正十二年十二月二十一日

中山關東廳警務局長

送名
地内收

亞細亞局

第一課

關東廳

MT 11212 03214

普通
202
12.12.26

寫

本寫爲御參考及送付候也
大正十二年十二月二十一日
拓殖事務局

張作霖ヲ訪問シタルニ對シ本月二十二日張總司令ハ答禮ノタメ代理トシテ子息張學良夫妻ヲ來訪セシメタリ當地ニ於テハ出來得ル限りノ款待ヲ爲シタル處幸ヒ非常ナル満足ヲ與エタルモノ如ク之レカ爲ノ日支兩國ノ間ニ多少ナリトモ良好果ヲ實スコトヲ得ハ本懷ノ至ナリ

右不取敢即參考マデ即報告申上グ

電報譯文

宛名 拓殖事務局局長

發信人 關東長官

拓第四八八八號 大正十二年十二月二十四日午後七時五十五分受

亞細亞局

第一課

送名
地内收

拓殖局

MT 11212 03213

本署
十二月廿二日
拓殖事務局
外務省印中

普通
受第 206 號
12.12.27

亞細亞局

| | | | |
|---------------------------------|--------|------|---------|
| 宛名 | 拓殖事務局長 | 發信人 | 關東廳警務局長 |
| 高 | 二五四 | 電報譯文 | |
| 既報張學良一行ハ豫定ノ通り本日午前十時十分大連發歸奉ノ途ニツケ | | | |

拓第四八八八號

大正十二年十二月廿二日午後五時四分受

第一課

拓殖局

MT 11212 03216

普通
受第 207 號
12.12.27

爲

亞細亞局

| | | | |
|---|--------|------|------|
| 宛名 | 內閣總理大臣 | 發信人 | 關東廳長 |
| 內閣 | (二九五) | 電報譯文 | |
| 過飯小官奉天ニ張作霖ノ訪問ニ対シ本月二十二日總司令ハ答禮ノ爲代理トシテ子息張學良夫妻ヲ末訪セシメタリ當地ニ於テハ出来得ル限りノ款待ヲ爲シタル處幸ニ非常中ニ満足ヲ與ヘタルモノ如シ之レガ爲日支兩國ノ間ニ多少ナリトモ良好果ヲ實スフトヲ得ハ本懐ノ至リナリ | | | |
| 右不取敢即参考マテ即報告申上ク | | | |

本寫爲御參考及送付候也
大正十二年十二月廿二日
拓殖事務局
外務省印中

拓殖局

MT 11212 03215

張子良訪録ノ件

地方政況
(成號用紙)



十二月廿五日

關東ノ

垂畑垂台長

今二五四費^既飯張子良一行ハ豫定ノ通り

本日午前十時二十分大連發歸京ノ途

ニ就
ケリ

外務省

MT

11212

03217

REEL No. 1-0062

0438

情報部

類項
2
號

機密
受第 8710 號
12. 12. 28

亞細亞局

高第 二三四六三 號

大正十二年十二月廿五日

山口縣知事 橋本 正

山口縣知事 橋本 正

綴込名
社

1310
12. 12. 28

日支外交手帳

内務大臣 後藤新平 殿
外務大臣 伊集院彦吉 殿
指定廳 府縣長官 殿

駐日支那公使 關スル件

駐日支那公使

汪 榮 寶

四 六

參事 官

張 元 節

四 八

關東秘書官

錢 孫

三 三

見習領事

陳 銀

二 八

隨行 員

耿 嘉 基

二 六

右者渡来ニ関シ本月十八日以本報既報ノ處一
行ハ本月廿三日午後七時入港、開釜連絡船
徳壽丸ヲ渡来山陽ホテルニ休棧、上第ニ列車
ヲ東上シタルカ休棧中、大要左ノ通り語レリ

左記

十生 前貴國ニ知ル小生ハ隔世感アルカ如シ進歩セル
今日、貴國ニ見ユル亭ヲ衷心ヨリ驚ニテ居ル次第ナリ
這回ノ大震火災ニ對シテハ一般支那國民ハ熱誠ナル
同情、念ニ遣ヘス然ルニ余災時ニ於ケル支那人誤
殺事件ハ目下寧ラ使節王正廷氏ニ於テ調査中
ナルカ本件ニ就テハ國際裁判云々ト言フ聞ヘナキ

MT

11212

03219

MT

11212

03218

ニアラサルモ彼ノ事件、如キ古今未曾有ノ大災ノ
為ノ恰モ無政府状態ニ陥レルガ如キ時ニ於ケル事件
ニシテ貴國ノ政府ノミシテ責ムルモ当ラス何トカ田滿ナル
解決ヲ希望シ居レルガ是ハ使節王氏ノ調査
結果報告ヲ見タル後ニ非ラサレハ何ントモ由ル業
又ル次第ニシテ貴國ノ調査報告ハ吾人ノ聞ク所
事責ニ於テ非常ナル相違セル莫在ルヲ遺憾トス
ニニ十一ヶ條ノ問題ハ既ニ既ニ所 六ヶ條ノ問題ナルガ
是ニ對シテハ別ニ民國政府ヨリ受命シ居ルモノニ
非ラサルモ民國一般ノ輿論ナルカ故 期ヲ見テ折衝
ヲ重シ田滿ニ解決ヲ期ラレシ高ニ望ム
ニ旅大問題ニ對シテハ之レモ別ニ政府ヨリ命令

ヲ受ケ居ルモノニ非ラサルモ是非 迴收シタキマナリ
西露支問題ハカラハンニ未ダ北京ニ滞在シタルガ
其ノ難トスル處ハ支那ノ露國ノ現在ヲ此ノ依ニ承
認スルヤノ問題ナルモ現在ノ依ニテハ旅大承認
キレハ通達シタルニ依リ目下交渉白一止ノ状態ニ
シテ全ク打切リタルモノニアラスニマ

MT

11212

03221

MT

11212

03220

紙 達 送 報 電

●注意 受付月の記入を省略したものは受付の當日業務に於て受領したものとす

| | | |
|----------------------|----------------------|------------------|
| 局著 | 局發 | 名氏所居人信受 |
| 受送者信 午後 時 分 | 受送者信 午後 時 分 | 第 月 日 報 |
| 定指 | | 寄信 附記 |
| キカウノト ツケリ | | 名氏所居人信受 |
| 事 記 印附日局發 | | 名氏所居人信受 |

●注意 万一人に宛てたる電報の明細を記すときは其の宛先を明記し、直に之を配達したる宛先所に返戻せらるゝ（決して其受取人へ直送し又は手渡しせざること）

MT 11212 03223

紙 達 送 報 電

●注意 受付月の記入を省略したものは受付の當日業務に於て受領したものとす

| | | |
|--|----------------------|------------------|
| 局著 | 局發 | 名氏所居人信受 |
| 受送者信 午後 時 分 | 受送者信 午後 時 分 | 第 月 日 報 |
| 定指 | | 寄信 附記 |
| ニウヨコ ヒハウウ アゴガニ ンテ五 クゼイ四 ノリ、 ントヨキ ンチウホ ハリーウ ツシホコ | | 名氏所居人信受 |
| 事 記 印附日局發 | | 名氏所居人信受 |

●注意 万一人に宛てたる電報の明細を記すときは其の宛先を明記し、直に之を配達したる宛先所に返戻せらるゝ（決して其受取人へ直送し又は手渡しせざること）

MT 11212 03222

| | | | |
|-----------|-------|----------------------|-----------|
| 文書 年月日 | 文書番號 | 件名 | 處理狀況 |
| 一〇.五.一二 | 第一〇四號 | 在朝鮮郵便局敷地建設 物管理事務所 | 外務省 照會 |
| 一二.八.二九 | 第七四四號 | 同上 | 外務省 照會 |
| 一〇.五.一二 | 第一〇四號 | 在朝鮮郵便局敷地建設 物管理事務所 | 外務省 照會 |
| 一二.七.二七 | 第一〇五號 | 引渡案 | 外務省 照會 |
| 一二.八.二九 | 第七四四號 | 同上 | 外務省 照會 |
| 一二.六.二二 | 第一〇七號 | 鴨綠江保全工事 | 外務省 照會 |
| 一二.九.二二 | 第五三三號 | 青島輸出 | 外務省 照會 |
| 一二.九.二二 | 第七一號 | 朝鮮總督府 | 外務省 照會 |

MT 11212 03225

門類
項 2
號

亞細亞局第一課

機密
13.1.4

附屬書類添付

亞細亞局

第三課

朝鮮總督府

敬啓陳者過日東京ノ節及御打合置候本府ヨリ貴省又ハ拓殖事務局在滿
洲領事館宛照會中ノ涉外案件ハ別紙ノ通有之候ニ付テハ貴省御關係事
案ニ對シ未回答ノモノハ此際可成至急御回報相成候御配意相煩度此段
御通知旁拜貴意候敬具

大正十二年十二月二十六日

朝鮮總督官房外事課長 園田

外務省亞細亞局長 出淵 勝次 殿

大正三年拾月貳日 記録係 接受

MT 11212 03224

亞細亞局第三
奉天、利令中
亞細亞局第三
奉天、利令中
亞細亞局第三
奉天、利令中

| | | | |
|-----------|-------------|----------------------------------|--|
| 一、二、七、二六 | 警務 第三二七號 | 農本河警務署官署在抄襲 警務署一件、支那側、支那側、支那側 | 外務省、照會 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |
| 一、二、九、二 | 高警 第三四八號 | 不逞鮮人逮捕三宗、件 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |
| 一、二、二、七 | 外務五六號 | 朝鮮馬賊金鳴律自板 引渡、一件 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |
| 一、三、二、六 | 警務 第四六二號 | 支那馬賊日本船捕獲、警務 二宗、一件 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |
| 九、三、三、八 | 官務 第三二七號 | 在布俄古朝鮮人保潔却補 即、支那側、支那側、支那側 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |
| 一、二、一、一、七 | 警務 第一九號 | 鮮安物下、於、鮮地警 務署、越境、二宗、一件 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |
| 一、二、七、一 | 警務 第三一八號 | 渭原警務署官署越境、支那 人家屋放火、二宗、一件 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |
| 一、二、二、三 | 警務 第三二五號 | 小長川問題、二宗、一件 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |

朝鮮總督府

MT 11212 03226

| | | | |
|----------|--------------|--|----------------------------------|
| 一、二、七、二一 | 警務 第三一九號 | 鮮匪調查員隨行、鮮人殺傷 二宗、一件 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |
| 一、二、三、九 | 警務 第三二二號 | 臨江縣三道橋、於、山林出賣 外、四名、越境、二宗、一件 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |
| 一、四、四 | 警務 第三一九一號 | 國境地方、於、日、支、軍、警、備 突、二宗、一件 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |
| 一、二、五、八 | 警務 第二一六號 | 支那人漁夫殺害、二宗、一件 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |
| 一、二、三、七 | 警務 第九一號 | 鮮安物下、於、日本、軍、警、署、奉 官、鮮人、逮捕、二宗、一件 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |
| 一、二、四、九 | 警務 第一六九號 | 漢口附近、於、鮮地、警務署、官、署、越 境、前、人、出、警、射、殺、二宗、一件 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |
| 一、二、七、二四 | 法務 第一〇〇號 | 漁船官取事件、於、調查、方、位 賴、一件 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |
| 一、二、七、二一 | 外務七號 | 鴨綠江、食、糧、輸、送、取、修、規、定 二宗、一件 | 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 十二月十日、通牒 |

朝鮮總督府

MT 11212 03227

附屬書類添附

第 三 七 八 號

大正十二年十二月二十九日

在奉天

總領事船津辰一郎

普通
受第 1.7.

在

外務大臣野澤伊集院彦吉殿

大正十二年十二月二十九日 兎玉閣東長官宛

関第二二七 寫送附

件名

一 張學良旅大訪問ニ關スル件

MT 11212 03228

寫

關第二二七號

大正十二年十二月二十九日

在奉天

總領事 船津辰一郎

關東長官伯爵 兎玉秀雄 殿

張學良旅大訪問ニ關スル件

過般張參謀長(學良)張總司令代理答禮使トシテ旅大訪問ニ關シ本月二十四日附貴電ノ御趣旨ニ基キ別紙甲號寫ノ通り謝意ヲ傳達致置候處今同張總司令ヨリ別紙乙號寫ノ通り申越候間右様御了承相成度此段申進候 敬具

本信寫送付先 外務大臣、在支公使

在奉天日本總領事館

MT 11212 03229

甲號

逕啓者、頃奉
關東廳兒玉長官電開、前蒙
特派令茲嗣漢鄉少將、遠道過訪、復荷
頒賜隆儀、拜領之下、曷勝感謝、惟光臨之際、款待諸多簡慢、
抱歉良深、統布
厚諒、尙冀將來兩國邦交、益臻敦睦、無任盼禱之至、並囑轉
達謝意、特是肅上、敬代陳謝、此致
張總司令

船津辰一郎 拜啓

十二月二十六日

在奉天日本總領事館

MT 11212 03230

乙號

敬復者日前 小兒 學良赴旅曾請
台瑞轉致
兒玉長官勿予過費張羅乃小兒昨回奉垣具述承優待矜寵殊常親
感之餘益增歉仄除專電馳謝敬請
貴總領事代向
兒玉長官轉達謝意兼祝兩國邦交鞏固
貴總領事健康此致
船津總領事

張 作 霖 啓

十二月二十八日

在奉天日本總領事館

MT 11212 03231

1
1
2

天

機密
受第 49 號
73.1.28

秘

亞細亞局 第三課

渡込名 日支外支

閣議高秘發第一〇八八號ノ一

大正十三年一月二十一日

中山關東廳 務局長

大正十三年參月廿七日 記録係 發受

出淵 副局長
別府 務局長
兒玉 在東京 務局長
川口 在東京 務局長

譯

藤田

支那新聞報「上海市民大會ノ電話」

上海對日市民大會ハ天津關東代表ニ電致シ代表ヲ日本ニ派シシ報章ヲ以テ

ノ中ニツキ反日セルカ該電文ニ曰ク

天津關東代表會日諸君 賜金

以下檢録セズ

關東廳

MT 11212 03232

REEL No. 1-0062

0446